

株式会社4°Cホールディングス

YONDOSHI HOLDINGS INC.

2026 年 1 月 9 日

(証券コード:8008 東証プライム市場)

2026 年 2 月期第 3 四半期決算概要

- ・ 連結業績は、4 期連続増収、営業利益は 2 期ぶりの増益、四半期純利益は 4 期連続の増益。
- ・ ブランド事業は、FDC プロダクツグループにおいて、マーチャンダイジング (MD)改革を継続。(株)羅針では商品ラインアップの拡充により、業績が堅調に推移し、増収増益。
- ・ アパレル事業は、デイリーファッション「パレット」の既存店伸長と新規出店効果による売上高増加や、アスティグループの主力取引先との取り組み強化により増収増益。
- ・ 株主還元方針として、DOE(株主資本配当率)4%以上を目安に、安定的・継続的な配当の実施と自己株式の取得により、総還元性向の水準向上に努める。年間配当は 83 円を予定。

株式会社4°Cホールディングス(本社:東京都品川区、代表取締役社長 増田英紀)はこの度、2026 年 2 月期第 3 四半期決算(2025 年 3 月1日から 2025 年 11 月 30 日まで)を発表いたしましたので、概略のご報告をいたします。

1) 連結業績概況

(百万円、%)	2025 年 2 月期 第 3 四半期	2026 年 2 月期 第 3 四半期	前年同期比
売 上 高	29,193	50,791	+74.0%
営 業 利 益	1,152	1,920	+66.7%
経 常 利 益	1,468	2,175	+48.2%
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	1,008	1,246	+23.5%

1 株当たり四半期純利益 58 円 05 銭(前年同期 47 円 02 銭)

期中平均株式数(連結)21,471,873 株

のれん償却前営業利益 2026 年 2 月期第 3 四半期 2,857 百万円(前年同期 1,524 百万円)

流通業界におきましては、円安基調の為替相場のもと、インバウンド需要は持ち直しの動きがみられました。また、株価の堅調な推移を背景に、富裕層による高額品需要が拡大する一方、

本 社 : 東京都品川区上大崎二丁目 19 番 10 号
設 立 : 1950 年 5 月
資 本 金 : 24 億 8,652 万円
事 業 内 容 : 「4°C」を中心としたジュエリーSPA 及び高級ブランド時計のリユース販売を行うブランド事業、アパレル OEM・ODM 及びデイリーファッション「パレット」をチェーン展開するアパレル事業
ウェブ サイト : <https://yondoshi.co.jp/>
問 い 合 わ せ 先 : (株)4°Cホールディングス 経営企画室
TEL 03-5719-3295 FAX 03-5719-4462
e-mail ir-yondoshi@yondoshi.co.jp

物価高騰に賃金の上昇が追い付かない状況が続き、消費者の節約・低価格志向が継続したこと、消費の二極化が進行しました。

そのような状況のもと、当第3四半期の売上高は507億91百万円(前年同期比74.0%増)、営業利益は19億20百万円(前年同期比66.7%増)、経常利益は21億75百万円(前年同期比48.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益12億46百万円(前年同期比23.5%増)となりました。

■ブランド事業

売上高 319億89百万円(前年同期比201.9%増)

営業利益 16億87百万円(前年同期比237.0%増)

ジュエリーSPA事業を展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループでは、女性客の支持拡大に向けたマーチャンダイジング(MD)改革の推進や、価格政策の見直しに引き続き取り組んでおります。

また、高級ブランド時計のリユース販売を手がける(株)羅針では、グループの財務基盤を活かした商品ラインアップの拡充による既存店の伸長や、新宿店の出店効果もあり、売上高が拡大いたしました。

■アパレル事業

売上高 188億2百万円(前年同期比1.1%増)

営業利益 10億55百万円(前年同期比3.8%増)

デイリーファッション「パレット」を展開する(株)アージュは、既存店の伸長や新規出店・増床により、売上高は堅調に推移いたしました。

アスティグループは、強みである海外生産基盤を背景に、素材提案力を強化した結果、主力取引先との取り組みが拡大し、売上高・営業利益ともに伸長いたしました。

2) 通期の連結業績見通し

(百万円、%)	2025年2月期 (実績)	2026年2月期 (予想)	前期比
売上高	45,902	66,000	+43.8%
営業利益	1,960	2,800	+42.8%
経常利益	2,351	3,150	+33.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,377	1,600	+16.2%

1株当たり予想当期純利益(通期)74円52銭

期中平均株式数(連結)21,471,873株

のれん償却前EPS132円69銭

2026年2月期の連結業績予想につきましては、2025年4月11日に公表した値から変更はありません。

(注)上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の経済情勢等、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

3) 当期の配当

年間配当金					
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前 期	—	41.50	—	41.50	83.00
当 期	—	41.50	—		
当 期（予想）				41.50	83.00

当社グループは、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと位置づけております。その基本方針として、安定的かつ継続的な配当の実施に加え、機動的な自己株式の取得を通じて、総還元性向の水準向上に努めてまいります。また、株主還元を測る重要な指標としてDOE 4%以上を目標に掲げ、将来的には1株当たり年間配当100円の実現を目指しています。

こうした方針のもと、2026年2月期の配当については、中間・期末ともに1株あたり41円50銭、年間で83円を予定しております。

以上